

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（報告）

みどり福祉会 ほほえみ

管理者 日置冬樹

当事業所を利用している保護者の皆様のご協力のもと、保護者による自己評価を過日実施いたしました。

皆様からご意見を聞くことができました。結果をもとに事業所の取り組みを見直し、今後の在り方を考えることができました。ありがとうございました。

評価につきましては、多くの項目で概ね高い評価をいただきました。しかし、「どちらともいえない」「いいえ」や未回答の回答もあるので、まだまだ説明不足やホームページなど周知できていない点や丁寧な支援が行き届いていない部分があることに気付かされました。オリエンテーション（保護者会）の中だけでなく、保護者交流会、面談時など、より丁寧に説明していくように心がけたいと思います。本事業所は、主に地域の小学校に通う支援の必要な児童が通ってきています。保護者と共に子ども理解を深め、成長を共に喜び合える関係つくりさらに努めていきたいと思います。また、各小学校との連携や地域の児童クラブなどとの交流会など、昨年度の課題でしたが、少しずつ増えています。地域の中で育っていく取り組みとして、中学生の受入を来年度から展開していきたいと思います。

今後も、子どもを中心に保護者との連携を大事にしながら、様々なご意見ご要望を寄せていただく中で、一人一人の声を真摯に受け止めて、よりよい事業所づくりに努めて参りたいと思います。

令和6年度アンケート集計結果

通所支援事業所ほほえみ

※令和6年9月実施

No.	質問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	意見	合計	
Q1	子どもの活動等のスペースが十分確保されているか	28	4	0	0		32	
Q2	職員の対応について専門性は適切であるか	32	0	0	0		32	
Q3	個人情報に十分注意しているか	32	0	0	0		32	
Q4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	30	0	0	2		32	
Q5	活動プログラムが固定化されないように工夫されているか	32	0	0	0	・工夫してもらってるのを感じます	32	
Q6	地域と交流する機会があるか	21	10	1	0		32	
Q7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか(重要事項説明書や利用契約書等)	30	0	0	2		32	
Q8	カンファレンス等で日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	30	1	0	1		32	
Q9	保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	32	0	0	0		32	
Q10	保護者交流会や懇談会などに参加していますか	24	8	0	0	・状況による	32	
Q11	定期的なお便りなどで活動報告や行事予定を発信できていますか	32	0	0	0		32	
Q12	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	11	0	0	・8/8地震が実際に起きた際スムーズに避難できたことが日頃の成果だと感じました。 ・わからない	32	
Q13	子どもは通所を楽しみにしているか	31	1	0	0		32	
Q14	事業所の支援に満足していますか	31	1	0	0		32	
Q15	利用日を増やしてほしいと思いますか	12	14	6	0	・ずっと通いたいと思っているかな？ ・現状満足している	32	
Q16	長期休業中(夏休み等)の延長は必要と思いますか	24	5	3	0	・今ので大丈夫だと思う ・とてもありがたいです。	32	
Q17	関係機関(学校・医療など)との連携に満足していますか	26	5	0	1		32	
Q18	送迎車の利用に満足していますか	32	0	0	0	・ありがたいです	32	
Q19	法人のホームページを閲覧したことがありますか	6	3	21	0	・知らなかった	30	
Q20	中学生も利用できたらいいなと思いますか	20	11	1	0	・利用できるのであれば ・1年生の時だけでも…あれば子供は安心できると思います!!	32	
Q21	ご意見などありましたら、記入してください	<p>・夏休みもいろいろな体験ができてとてもよかったです。ありがとうございます。</p> <p>・中学生もぜひ利用できるの良いと思います。</p> <p>・いつも子どもの心に寄り添った支援、並びに保護者へのあたたかい声かけ、本当に有難うございます。</p> <p>・大変お世話になっております。今後もよろしくお願いします。</p> <p>・色々な体験を計画していただいて、本当にありがたいです。</p>						

保護者等向け放課後等デイサービス評価表（回答）

- Q1 子どもの実態に合わせて、環境を整備したいと思います。
- Q2 職員の対応や専門性については、日々の実践の反省会や研修などを実施しながら職員の専門性をさらに高めていきたいと思います。
- Q3 個人情報に関しては、今後も法令に順守していけるようにします。
- Q4・Q5 個別支援計画や活動のプログラムは、日々の実践の反省を踏まえて、今後も展開していきたいと思います。
- Q6 地域交流は、地域の学童や放課後等デイサービスなどがありますが、グループによって取り組んだグループとないグループがあったので、今後も取り組みを拡げたいと考えています。※なかなか医療的ケア児がいる事業所との交流が難しい。（体調面など）
- Q7 オリエンテーションで一つ一つ説明をしたが、不十分な点があったのかもしれないので、今後はさらに丁寧に説明を出来るように工夫したいと思います。
- Q8 カンファレンスをより丁寧に分かりやすく伝えるように努力したいと思います。
- Q9 面談や助言など、今後もより細かな相談支援が出来るように努めたいと思います。
- Q10 保護者交流会は開催しているが、開催時期や回数など今後検討していきたいと思います。
- Q11 グループLINE、おたより等で活動報告や行事予定など、今後も継続したいと考えています。
- Q12 日頃の実践や長期休みの日に訓練など実施しています。今後も実施の連絡などをおたより等で周知できるように努めたいと思います。
- Q13 子どもたちが楽しく通える居心地の良い場所になるように努めたいと思います。
- Q14 満足できる活動を展開できるように努めたいと思います。
- Q15 今後の参考にしたいと思います。
- Q16 今後の参考にしたいと思います。
- Q17 今後の参考にしたいと思います。
- Q18 安心安全に児童を送迎したいと思います。
- Q19 全員に周知できるように努めたいと思います。
- Q20 来年度より実施予定です。

「放課後等デイサービス事業所における自己評価」の結果について（報告）

みどり福祉会 ほほえみ

管理者 日置冬樹

当事業所における「放課後等デイサービス事業所における自己評価」について、自己評価を過日実施いたしました。

事業所における自己評価につきましては、自然災害や非常時など、児童を見ていく中で様々な訓練や職員研修を実施してまいりました。多くの気づきや学びがありました。今後もより一層、非常時等の対応について意識を高めて取り組んでいきたいと考えています。

今年度も、日々の実践に関しては概ね良い取り組み（適切な支援の提供など）が出来ていたようでしたが、関係機関との連携や対応などまだまだ改善する点がありました。結果をもとに、児童の為に必要と思われる職員研修やより良い連携を実施して参りたいと思います。また、事業所の役割（発達支援・家族支援・地域支援）について、一つ一つ理解を積み重ねて職員全員で深めていきたいと思います。

本事業所は、主に地域の小学校に通う支援の必要な児童が通ってきています。これからも、信頼される事業所であり続けていくために、事業所のあり方を職員間で問いながら、取り組みを進めていきたいと思っています。

令和6年度職員アンケート集計結果

通所支援事業所ほほえみ

No.	質問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	意見	合計
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	0		4
	2 職員の配置は適切であるか	4	0	0	0		4
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	3	1	0	・改善しないといけない所がある	4
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	0	0	0		4
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	2	0	0		4
	6 この自己評価の結果を事業所の開放やホームページ等で公開しているか	3	1	0	0		4
	7 第三者による外部評価を行い評価結果を業務改善につなげているか	1	2	0	1		4
	8 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	0		4
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	0		4
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	0	0		4
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	0		4
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	0		4
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2	0	0		4
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	0		4
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	0		4
	16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4	0	0	0	・当日は難しいので、翌日必ず行っている	4
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	0		4
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	0		4	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	1	0	0		4	
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	0		4	
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	0	0	0		4	
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	3	0	0	・医療的ケア児がないので現在はしていない	4	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	0	0		4
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス次長所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1	1	0	・今後必要があれば提示していきたい(現在はいい)	4
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	0	0		4
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	0	0		4
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	0	2	・事業所としては参加している	4
	28	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えたい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	0		4
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	0	0		4
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	0	0	1	・事業所としてはしている。個人ではしていない	4
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1	0	0	・助言等はしているが適切かはわからない	4
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	0	0		4
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	0		4
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	0		4
	35	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	0		4
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1	0	0		4
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	1	0	・今後計画に取り入れていきたい	4
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	0	0		4
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	0		4
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	0		4
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	0	0		4
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3	0	0	・現在はアレルギー対応が必要な子どもはいない	4
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2	0	0		4

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 2月 20日

事業所名 通所支援事業所 ほほえみ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令に従って十分なスペースを確保している	
	2 職員の配置数は適切である	○		法令に従った職員数を配置している。(現在は配置以上の職員体制)	現在の職員配置(体制)を継続していけるように、働きやすい環境、働きがいをを感じる学びの場を保障していく
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		児童の実態に応じて分かりやすい環境づくり、過ごしやすい動線や空間を保障している。階段手すりがある。	現在、必要な児童はいないが今後、児童の実態に合わせて、適切な環境づくりに努めたい。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎回、反省会の中で意見交換をしている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表や個別ケースについて、迅速な対応に努めている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所内に掲示し、保護者のカンファレンスを毎週1回行う場所でも誰もが閲覧できるようにしている。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		法人で定期的に行う(予定)
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		学びの場をさらに確保する。	事業所内・外の研修・県や市を実施(参加)出来るように努める。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		相談支援員や保育園等・児童発達支援事業所の方々の情報をもとに、発達課題を分析して計画作成を行っている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		全職員で検討し、最終決定をしている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節の行事や児童の実態に応じた活動内容を工夫している。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		午前と午後や利用日数に応じて、児童の実態に応じて様々な活動を取り組んでいる。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動と集団活動での支援について、一人一人の課題に応じた計画を作成している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に、必ず打ち合わせを行っている。(児童の予測と対応、役割と支援)	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		最後の児童が帰宅した後、その日になったことを各自話しをしたり、記入している。勤務時間上難しいので、基本的には、次の日の朝、反省会を行っている。	職員の勤務時間を考慮しながら、反省の時間帯を工夫し、職員の共通理解に努めたい。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録は、徹底しており、支援・課題・成果等(場面記録)を明に記載されるように努めている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		必要に応じて定期的に実施し、計画の見直しを行っている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童館が出席している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		新年度になると、各学校へ挨拶に行く。(誰がいつ送迎の情報交換などをする。)下校時刻の確認や変更等は、保護者と学校(担任)等に連絡が取れるようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			現在医療的ケア児童はいないが、今後医療的ケア児を受け入れる時のことを考えて連絡体制を整えたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		事前に情報提供書(シート)を使って、情報を頂いたり、実際に引き継ぐ準備を設けて相互理解に努めている。	来年度利用予定の児童を発達支援センターへ見学と情報交換会に参加し、情報の共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			現在、事業所を移動するケースがないのだが、今後移行するケースが出てきた場合、スムーズに移行できるように努めたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		出来るだけ研修に参加できるように努めている。	事業所間での情報交換や交流会、研修会を開催できるように進めたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		他事業所の児童との交流会を開催している。	同法人に児童クラブも2カ所ある。今後、さらに児童クラブや他事業所との交流の場を作りたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		会議への参加に努めている。	送迎時間と重なる為、時間調整が難しい時がある。全職員へ周知していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		活動後の引継ぎの際に、子どもの状況を伝えていく。気になる事があれば、電話やLINE、面談等を設定している。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		市が開催する、ペアトレへつないでいるケースがある。	日頃の困り感を語り合う場として、毎週カンファレンスを行っている。その際に、日常の困り感を語り合う場、関りを学び合う場作りに努めているが、日時場所などの工夫に努めたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にできるだけわかりやすい説明を付けている。オリエンテーションを設けて、全体に周知している。その都度個別での対応もしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からの悩みに対して、迅速な対応をしている。	まだまだ、不足していることもあると思うので、保護者とのより良い関係づくりに努めたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者同士がつながる保護者会の開催を実施している。	保護者の交流の場をもっと増やせるように、開催日時の工夫をしたい。(第二土曜日など)
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		その都度、迅速かつ丁寧に対応しより良い解決に向けて努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		事業所より、おたよりを毎月定期的に発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の取り扱いには契約時に説明し同意を得ている。取り扱いには十分注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		より良い関係を作りながら、個々の状況に応じて配慮している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	○			地域の中で、果物狩り体験や様々な公共施設の利用をしているので、今後も地域の資源を生かした活動作りに努めたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			今後も実態に合わせて、各マニュアルについて事業所内研修を実施し、周知を図っていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		長期休業中に年2回の開催している。	訓練回数を増やすように努めたい。火災・震災など、様々な災害を想定した避難、救出の訓練を行う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修会がある時には参加する。	市や県の虐待等の研修会に参加できるように努める。今年度は、事業所内で研修会を実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		現在、身体拘束が必要なケースがない。	現在、対象の児童がいない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			当該児童がいる場合は、必要に応じて保護者や医師と連携を図るようにする。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業が発生した時には、反省会などの場面で報告している。	職員全体に周知をしていくよう努めたい。